

令和7年度 津和野高等学校 育てたい資質・能力ルーブリック

			レベル1	レベル2	レベル3	レベル4	レベル5
カテゴリー	定義	資質・能力			良い (自ら考えて行動できる)	大変良い (他者に対し良い影響を与えることができる)	スーパー高校生！ (他者を巻き込み、より良い社会を作る力がある)
①基礎力	基礎力は、学習や生活の基盤となる力です。自分や他者の心と体の健康を大切にすること、必要な知識や技能をしっかりと身につけること、そして情報を自分の判断で見極めてうまく活用する能力が含まれます。この力を高めることで、課題に対応できる強さを身につけることができます。	自他の心身の健康	自分と体の健康を大切にしよう意識している。	自分の心と体の健康を大切に生活がおおむねできている。	自分の心と体の健康を大切に生活ができているうえで、他者の心と体の健康を大切にしよう意識している。	自分の心と体の健康を大切に生活ができているうえで、他者の心と体の健康を大切に生活できている。生活もおおむねできている。	自分の心と体の健康を大切に生活ができているうえで、他者の心と体の健康を大切に生活できている。また、自他の人権を尊重した生活ができる。
		知識・技能	授業で基礎的な知識・技能の理解に努めている。	学んだ知識・技能が自分のものとなるよう、復習に努めている。	基礎的な知識・技能を身につけ、状況に応じて活用できる。	基礎的な知識・技能だけでなく、課題解決に必要な知識・技能も自ら追い求め主体的な学習ができている。	課題に関連する知識・技能を、教科を超えてつなげることができ、他者に説明できるレベルまで理解している。
		情報活用能力	必要な情報を得る方法が分かる。	信頼性のある情報源を活用することができる。	信頼性のある 必要な情報を収集し、分かりやすく伝えようと工夫することができる。	複数の情報を適切に収集し、分析、整理して自分の考えに組み込み、深めることができる。	複数の情報を適切に評価し、分析したデータを活用して、独自の見解や新しい価値を生み出すことができる。
②課題発見力	課題発見力は、問題や課題を見つける力です。自分が興味を持っていることを探究し、知的好奇心を持って新しいことを学びます。また、他者の困りごとや課題を理解し、問題を深く考え、判断する力が求められます。この力を身につけることで、どんな場面でも課題を見つけ出し、解決に向かうことができます。	知的好奇心	興味を持つ分野があり、学んでみたいという気持ちがある。	興味を持った分野に対して、学習方法や調査方法を考えたり、振り返って整理することができる。	新しい情報や課題に関心を持ち、自分の興味を広げようとしている。	新しい情報や課題に対して関心を持ち、自ら学ぼうとする姿勢が見られる。また、興味を持った分野に対して、積極的に調査や学習を行い、深い理解を得ようと努力している。	新しい情報や課題に関心を持ち、積極的に質問や意見交換を行う。また、興味を持つ分野の探究を進め、複数の視点から課題を捉え、学びを深めている。
		共感力	相手の話を聞くことができる。	相手の立場になって物事を考えることができる。	相手と信頼関係を築くことができる。	他者の状況や背景を深く理解し寄り添うことができる。	他者の状況や背景を深く理解し寄り添うことで、課題の本質を見つけ出すことができる。
		思考判断力	与えられた情報を整理できる。	課題を適切に捉え、論理的に掘り下げて考えることができる。	様々な情報を収集し、分析、評価、活用しながら新しい課題を発見することができる。	複雑な問題を理解し、他者の意見を取り入れつつ多角的な視点で考え、柔軟に判断することができる。自分の判断を論理的に説明できる。	複雑な問題を多角的な視点で分析し、他者の意見を取り入れつつ深く洞察して、柔軟かつ批判的に判断することができる。自分の判断を根拠に基づいて説明できる。
③課題解決力	課題解決力は、見つけた課題や問題に対して、どのように解決するかを考え、実行する力です。これには、創造的なアイデアを生み出す力、仲間と協力して問題に取り組む力、そして異なる意見や立場を尊重し、多様な視点を活かしながら解決策を見つけ実行に移す力が含まれます。この力を高めることで課題解決に向けて実行力が高まります。	創造力	既存のアイデアや知識を使い課題を完成しようとしている。	既存のアイデアや知識を使い課題を完成することができる。	創造的に問題解決に取り組み、新しいアイデアを提案することができる。	創造的に問題解決に取り組み、革新的なアイデアを提案することができる。また、他者と協力して新しい解決策を導くことができる。	新しいアイデアや独自の視点を持ち、試行錯誤を繰り返しながら、価値をさらに高めることができる。また、グループの中でも創造することリーダーシップを発揮することができる。
		協働性	所属する集団の一員としての自覚を持っている。	所属する集団の一員としての自覚を持ち、協力的に作業を進めようとしている。	グループ内で意見交換を行い、自分の役割を果たし、他者と協力して作業を進めることができる。	自分と異なる意見やアイデアにも柔軟に対応し、グループの中で積極的に自分の役割を果たしながら、他者と協働して目標達成に向けて努力できる。	他者の意見やアイデアを生かしながら、チーム内で役割を適切に分担し、グループ全体の目標達成に向けてリーダーシップを発揮する。他者を尊重し、どんな状況でも協力的である。
		多様性活用力	自分と異なる意見や価値観に関心を持ち、学ぼうとする姿勢がある。	自分と異なる意見や価値観を尊重することができる。	異なる意見や価値観に触れることを楽しみ、学ぼうとする姿勢がある。	異文化や異なる背景を持つ人々と協力し、相手の考えを理解しようとする。お互いの良いところを引き出し活動を進めることができる。	意見や価値観の違いを超え、異文化や異なる背景を持つ人々と共により良い未来を創り出すために行動することができる。
④社会情緒的能力	社会情緒的能力は、自分及び他者の感情や思考を理解してよりよい関係性を築き、学校や地域などの集団の発展を構想する力です。自分の学校生活を送るうえで、自分の感情をセルフコントロールし、つつ他者とよりよく対話できることが大切です。また、自分の感情や思考を表現する際には、他者から共感を得られるように力を高めることで、自分と他者、学校や地域などの集団での人間関係を適切に築き、自分の心と体の健康・成長も保つことができます。	表現力	口頭や筆記で自分の考えを表すことができる。	他者との交流を通して、新たな視点を取り入れたうえで自己の意見を持ち、集団において自分の考えを述べることができる。	他者と意見を交換する機会を通して自己の意見を深めることができ、集団において自分の考えを述べたり他者の考えを聞いたりすることができる。	自己と他者の共通点や違いを認めながら自分の意見を述べることができ、集団において人の人と協働してものごとを進めていくための会話ができる。	自己を十分に理解し、他者の視点や立場も理解しながらお互いに意見を述べることができ、集団において多数のひとと協働してものごとを進めていくために説得力のある表現ができる。
		対話力	他者との対話において、相手の考えや意見を理解し、自分の意見も述べることができる。	他者との対話において、相手の考えや意見を理解し、相手を尊重しながら自分の意見も述べることができる。	異なる意見を受け入れ、冷静に対話を進めることができ、協力的に解決策を模索することができる。	意見が異なる場合でも冷静に建設的な対話を進め、最適な解決策や合意点を見つけ出すことができる。	他者との対話において、相手の考えや意見を深く理解し、相手を引き込むような質問を投げかけ、さらなる意見を引き出し、双方の理解を深めることができる。
		発信力	自分の意見や考えを人前で話すことができる。	意見を求められたときに、自分なりの意見や考えをその場で考え話すことができる。	他者に配慮して、論理的な整合性のある発表を行うことができる。	様々な方法で発信でき、聴衆の関心を引き付けられる力がある。また、相手の反応に応じて自分の発信方法を柔軟に調節することができる。	多様なメディア(口頭、文章、ビジュアルなど)を適切に使い分け、相手に影響を与える発信を行うことができる。また、相手の反応に応じて自分の考えを深め、改善することができる。
⑤キャリア探究性	キャリア探究性は、自分の強みや興味、社会のニーズや社会状況を認識し、それに基づいて自分の目標を決め、粘り強く達成に向けて努力する人間性です。日々の生活の中で自分を見つめ、将来の進路やキャリアを考えるの力を育むことで、自分に合った道を選び、社会に貢献できる行動を取ることができます。	自己理解	自分の経験や行動の結果を振り返ることができる。	自分の性格や行動、価値観を把握し、自分を理解しようとしている。	自己理解ができおり、自己調整に向けた取り組みを行っている。	自己理解ができおり、目標や夢の実現のために行動するとともに、他者の考えや立場の理解に努め行動することができる。	自己理解ができおり、他者の考えや立場の理解に努めながら、社会の中で自分がどのような役割を果たしたいのか考え、それを目標や夢と関連付けて行動することができる。
		自己決定力	他者の助言を参考に、自ら判断して行動することができる。	やりたいことを見つけよう学習や部活動等に積極的に取り組むことができる。	やりたいことが明確になり、前向きかつ計画的に行動することができる。	明確な目標を持ち、その実現に向け時間管理や感情のコントロールを他者への影響を考えながら行動することができる。	自分の目標を深く理解し、その実現に向け計画的に行動している。また、社会の中で他者への影響を考えながら自分の役割を考え、大局的に判断し行動することができる。
		粘り強さ	目標達成のために、自己をコントロールしながら粘り強く取り組みようとしている。	目標達成のために、自己をコントロールしながら粘り強く取り組んでいる。	失敗を恐れず挑戦し、失敗を前向きにとらえ、そこから学ぶことができる。	失敗を次の挑戦に活かし、前向きに改善し、努力を継続することができる。その姿勢によって、周囲に良い影響を与えることができる。	どんな困難な状況でも諦めず、周囲を励ましながら課題解決に向けて粘り強く取り組むことができる。その姿勢によって、周囲に良い影響を与えることができる。